

第5回

牧野哲仁ギターリサイタル



期日：2008年4月27日（日）

会場：浦添市産業振興センター「結の街」大研修室

開場：午後6時 開演：午後7時

主催 OAGS（オージス～沖縄ギター芸術協会）

<http://nakagusuku.cool.ne.jp/guitar/index.html>

あいさつ

牧野哲仁（まきの てつひと）

本日はお忙しいにも拘わらず私のギターリサイタルに駆けつけて頂き誠に有り難うございます。皆様に感謝を込めて精一杯演奏致しますので最後までご鑑賞頂ければ幸いでございます。

リサイタルは演奏家として日々の勉強の発表の場であると心得ております。毎年やらねばと思いながらも、今回でわずか5回目のリサイタルであり不勉強を感じ入るばかりです。前回リサイタルの折、ステージでの演奏経験不足を痛感したものの、反省が生かされず、今回もほんとうに久しぶりのステージとなります。ともあれ、一生懸命やるばかりです。

前回、これまでの奏法を変え全く新しい奏法を試みた成果を試すべくリサイタルに臨みました。この奏法のいきさつについては琉球新報のコラム「南風」に掲載しましたが、その後、オージスで何名かのギタリストを招聘して演奏を聴いたり、研究を続けていく内に、多くのギタリストが同じ様な奏法を試みていましたことが判りました。また、私自身の若いときの演奏ビデオを見るとなんとこの奏法で演奏しています。当時は感覚的にこの奏法で弾いていたものと思われ、今になって理論的に解釈できるようになったものです。この奏法は初心者に大きな効果をもたらすもので、これを如何にして高度なテクニックの中に生かして表現するかが現在の私の課題となっています。本日の演奏の中でこれらの成果が發揮できますよう最善を尽くして演奏いたします。

本日のご来場誠に有り難うございました。



プロ グ ラ ム



1.リュートの為の6つの小品/作者不詳

1.アリア、2.白い花、3.ダンサ、4.ガリアルダ
5.カンツォーネ、6.サルタレロ

2.グランソロ Op.14 / F.ソル

3.8月のメランコリー / 牧野哲仁

4.8月のホタ / 牧野哲仁

5.また会う日まで / 牧野哲仁

6.モーツァルトの魔笛による主題と変奏Op.9 / F.ソル

休 憩 (15分)

7.ひとつのワルツとふたつの愛 / D・レイス

8.もしも彼女が訊ねたら / D・レイス

9.バイーア女の戯れ / D・レイス

10.カローラ (ベネズエラワルツ) / A・ラウロ

11.ナタリア (ベネズエラワルツ第3番) / A・ラウロ

12.アルハンブラの想い出 / F.タルレガ

13.アストリアス / I.アルベニス

14.スペインセレナーデ / J.マラッツ





曲 目 解 説



◎リュートの為の6つの小品/作者不詳

1.アリア「あえかなる麗人」、2.白い花/Cesare Negr、3.舞曲、4.ガリアルダ、5.カンツォーネ「恋人よもしも私が」、6.サルタレッロ/Vincenzo Galilei

この曲は16世紀イタリアのリュート曲を組曲風に仕立てたもので、ギターでよく弾かれているレパートリーです。作者不詳とありますが、2曲目の「白い花」は Cesare Negr の作曲、6曲目の「サルタレッロ」は天文学者のガリレイの父 Vincenzo Galilei の作曲であることが判明しています。

◎グランソロ Op.14/ F・ソル

フェルナンド・ソル(Fernando Sor 1778年 - 1839年)は、スペイン・バルセロナ生まれの作曲家・ギター奏者。モンセラート修道院、そしてバルセロナで音楽を学ぶ。オペラやバレー曲の作曲家としても知られイギリス・パリ・ロシアで活躍しました。古典ギターを代表する音楽家です。この曲は単一楽章で書かれた序奏とソナタより成っています。ジムロック版はソルのロシア旅行中に他人の手によって出版されたものです。ユージエル版はソルが帰国した後、ソル自身がコントロール出来る状況下で出版されたもので、現代ギター社から出ており、本日はこの版で演奏します。

◎8月のメランコリー ◎8月のホタ / 牧野哲仁

8月の沖縄は海も空も青々として素晴らしい一年で最も開放的な月です。でも6月23日と同じく8月15日は厳粛な一日です。戦争について平和について考え、基地沖縄に思いが至る時メランコリーな気分になってしまいます。

いつまでもメランコリーなままでは大変です、明日に向かってなんとかせねば、というわけで「8月のメランコリー」を作ったすぐ後にこの曲が出来上りました。私が三味線弾きだったらカチャーシーでも作っていたかも知れません、でもギター弾きだったのでスペインの民族舞踊ホタになっていました。

◎また会う日まで/ 牧野哲仁

友人の母の告別式に参列して教会の方々の誠実なおもてなしに感動して作り献呈しました。「また会う日まで」とは言うものの私など到底「また会う日まで」という境地に至っておりません。どうもその辺が曲にでてしまったようですが、いつかはそこまでたどり着きたいと思います。

◎モーツアルトの魔笛による主題と変奏曲Op.9/ F.ソル

モーツアルトのオペラ「魔笛」から、第一幕フィナーレで歌われる一節「こりや素晴らしい響きだ」を主題として、序奏・主題・5つの変奏・終曲より成る曲です。この主題は当時大変有名になっていたメロディーです。

曲 目 解 説

◎ひとつのワルツとふたつの愛 / D・レイス

◎もしも彼女が訊ねたら / D・レイス

◎バイーア女の戯れ / D・レイス

ディレルマンド・レイス(Dilermando Reis 1916-1977)はブラジルでは国民的ギタリスト・作曲家としてよく知られています。日本では最近になってD・ラッセルなどのCDによって紹介されはじめ、エレガントで美しくサロン的な作風が受けてよく弾かれるようになってきました。

◎カローラ / A・ラウロ

◎ナタリア / A・ラウロ

アントニオ・ラウロ (1917-1986) はベネズエラのギタリスト・作曲家。5歳から音楽を学び始めましたが15歳の時、バリオス・マンゴレのギターを聴いてすっかり魅了され、それ以来ギター一本に専念しました。彼の作品の多くはベネズエラ風ワルツの形式を取り、小品ながらも独特のリズムとメロディーを駆使しギターならでは、また、ラウロならではの世界を構築しました。

◎アルハンブラの想い出/F.タルレガ

フランシスコ・タルレガ (スペイン 1852-1909) は「近代ギターの父」と呼ばれています。19世紀後半、当時衰退しつつあった楽器であるギターに生涯を捧げ作曲と編曲でこの楽器の芸術性を高め多くの人々の共感を集めました。「アルハンブラの想い出」は彼の代表作であるばかりでなくギター曲として最も有名な曲です。

◎アストリアス/I.アルベニス

イサーク・アルベニス (1860-1909) は、スペインのピアニスト・作曲家。神童として早くからヨーロッパ各地及びアメリカ大陸を回り、20歳にはすでにその名を広くとどろかせました。彼のピアノ作品はギターの響きを意識して作られた所があり古くからギターに編曲され、ギターの重要なレパートリーとなっています。

◎スペインセレナーデ/J.マラツ

ホアキン・マラツ (1872-1912) はスペインのバルセロナ生まれのピアニスト・作曲家で、パリの音楽院で学びました。ヨーロッパ諸国はもとよりアメリカでも名声を博しましたが、肺病のため40歳の若さで没しました。この曲はピアノ組曲「スペインの印象」の中の「セレナータ」という曲です。タルレガのギター編曲によって後世に親しまれる名曲となりました。

牧野哲仁プロフィール

私にとってギターは道である
舗装された綺麗な道を歩むよりも
茨に覆い隠された道を好む
時には道なき荒れ地を歩く
深い足跡を残して
疲れたら腰をおろして休む
ゆっくりとゆっくりと
まるで歩くのをやめたかのように
・ · · · ·
いつの間にかまた歩き始める
相変わらず 木々の中を 草地の中を
木の葉のざわめきを聴き
小鳥達のさえずりを聴き
風のうなりを聴く
・ · · · ·
心地よい太陽の陽射し
眼下に広がる七色の海
目を閉じて耳を澄まし
心の響きを聴く
やがてギターが響き
ニライカナイへの誘いの音楽が始まる



- 昭和28年 那覇市生まれ。
昭和41年 13歳（中学1年）からギターを始める。
昭和44年 県立小禄高校入学と同時にギタークラブに入部、ギターの指導を受ける。
昭和44年 先輩より古堅良雄氏に紹介され指導を受ける。
昭和46年 本島内のすべての高校を回り高等学校ギター連盟の設立を呼び掛ける。
翌年同連盟が発足する。
昭和47年 バイオリンを瀬底弘一氏に師事する。
昭和49年 立正大学法学部中退。
昭和51年 那覇市民会館にてジョイントコンサートを開催。
これよりギター演奏と指導に専念する。
昭和51年 「沖縄県ギター連盟」発足に尽力、事務局長を務める。
昭和52年 九州ギター音楽コンクールに参加、沖縄県から初の第3位入賞
昭和54年 第1回リサイタルを開催（労働福祉会館・中頭教育会館ホール）

牧野哲仁プロフィール

昭和57年	第2回リサイタルを開催（労働福祉会館・沖縄市民会館中ホール）
昭和57年	「ギター音楽の愉しみ」（沖縄ジャンジャン）
昭和62年	「県民コンサート」（恩納村）
昭和63年	「沖縄県ギター連盟」が「沖縄ギター協会」と改編し会長を務める
昭和63年	セゴビアを祈念した「フェスタセゴビアーナ」を開催（東町会館）
平成5年	虹の音の会のコンサートを開催（パレット市民劇場）
平成6年	第3回リサイタルを開催（パレット市民劇場）
平成17年	第4回ギターリサイタル（パレット市民劇場）

現在、浦添市中央公民館と那覇市若狭公民館・石嶺公民館、繁多川公民館、宜野湾市中央公民館、北谷町老人福祉センターなどで活動するギターサークルの指導を行い、新都心天久でギター教室を開講し個人への指導を行っている。

主なギター活動

- ・沖縄ジャンジャンにてコンサートシリーズ「ギター音楽の愉しみ」を10回開催する。
- ・沖縄ギター協会主催のコンサート「ギターの夕べ」を9回開催する。
- ・「ギタリストス沖縄」を主宰し沖縄県と共に自治体の主催する「県民コンサート」を6回開催する。（恩納村、竹富町、知念村、宜野座村、北大東村、座間味村）
- ・自身の生徒やサークルのための「虹の音の会」のコンサートを5回開催する。（パレット市民劇場3回、県立郷土劇場1回、浦添てだこホール）
- ・学校・地域コンサート（名護高校、三和中学校、島尻養護学校、安波公民館、大浜病院、愛憐園、ハートライフ病院、小禄病院、県立那覇病院、他）
- ・平成4年、5年、6年に浦添市中央公民館にて「ギター講座」を担当、平成5年に那覇市若狭公民館にて「ギター講座」を担当、サークル結成がされて今日に至る。
- ・平成8年、9年、10年に浦添市ハーモニーセンターにて「作曲講座～歌を作ろう」を担当。この時に作曲された曲はWebにて公開中。

<http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/tom/index.html>

ギター以外の活動

- ・マッキントッシュユーズグループ「HaiSaiMac」を設立し初期の代表を務める。
<http://homepage.mac.com/haisai/mac/index.html>
- ・「スタック首里城」をグループ製作しアップルジャパン社のCDで全国に紹介される。
- ・アスキー社からの依頼で「沖縄観光ガイド」をマルチメディア作品としてグループ製作し雑誌とCDに掲載され全国に紹介される。
- ・県営経塚団地自治会にて自治会長を3期6年務める。
- ・沖縄県県営団地自治会連絡協議会理事を経て副会長を1年務める。
- ・中城サンヒルズタウン自治会にて自治会長を4期12年努める（平成15年度まで）、その間、社協評議員や交通安全指導員、体協支部長などの自治体関連役員を務める。
- ・民生委員児童委員を1期3年務める。

レオナルド・ブラー ボギターリサイタル

(オージスギター鑑賞友の会 第8回鑑賞会)

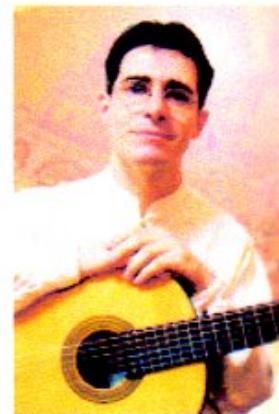
期日：2008年6月15日（日）

場所：浦添市産業振興センター「結の街」大研修室

開場：午後6時 開演午後7時

料金：前売り3,000円（当日300円増加）学生は半額

Leonardo Bravoは1967年アルゼンチンに生まれる。国立ロサリオ大学芸術学部音楽課修了(1994)。ロサリオギター協会主催ギターコンテスト優勝(1987)。モサルテウムサンタフェ主催クラシックギターコンテスト優勝(1989)。アルゼンチンギターサークル(CGA)主催クラシックギターコンテスト優勝(1991) CGAより1994年のベストギタリストに選ばれる。ファンダシオン・アントルチャス主催室内楽コンテスト優勝。サンロレンソギター協会主催サンロレンソギターコンテスト2位(1994)。国立ロサリオ大学主催クラシックギターコンテスト優勝(1995)。ウニオン デル ペルソナルシビル ナシオン(UPCN)主催アルゼンチンの音楽の全国作曲、演奏コンテスト2位(2003)。アルゼンチン国内で数々のCDアルバムを収録。1991年より2003年まで国立ロサリオ大学にてギターを教える。2004年より福岡のフォレストヒルミュージックアカデミー及びラテン文化センターにてギターを教える。



アンナ・コッホ ギターリサイタル

期日：2008年7月4日（金）

場所：浦添市産業振興センター「結の街」大研修室

開場：午後6時 開演午後7時

料金：前売り3,000円（当日300円増加）学生は半額

このコンサートは昨年来沖したドイツの佐々木忠先生が宮古島市の「うえのドイツ文化村」を支援したいとの好意によって実現できました。女史は6日にうえのドイツ文化村マルクスブルグ城内でコンサートを開きます。



1982年ドイツのマインツに生まれる。9歳から、マインツのコンセルバトリウムにおいて父であるギタリスト、ミヒヤエル・コッホにギターを学ぶ。10代でドイツ国内で最も重要な青少年のための音楽コンクール「ユーゲント・ムジツィエルト」において最高満点を得て優勝するなど、国内外の多くのコンクールに入賞。ソリストとして、またオーケストラや室内楽団との共演でヨーロッパ各地で活躍、ラジオ、テレビに出演している。

2007年フライブルグ大学および音楽大学を優秀な成績で卒業。現在シュトゥットガルト音楽大学のマスタークラスでさらに研鑽を積んでいる。また、ロベルト・アウセル、レオ・ブローウェル、オスカー・ギリア、デヴィット・タネンバウムら高名なギタリストのマスタークラスにも積極的に参加している。ソリストとして、バッハから現代曲まで技術的にも音楽的にも非常に変化に富んだ幅広いプログラムで聴衆を魅了。室内楽の分野でも器楽、歌手の伴奏者としての信頼が厚く、共演者としてのオファーも多い。

牧野哲仁ギター教室

那覇市天久新都心（りうぼう近く）にて開講。生徒募集中。

- ・無料体験レッスンを設けてありますのでレッスン内容の確認や入会の検討に活用して下さい。この際には楽器も楽譜なども必要有りません。
- ・教室には練習用のギター（無料）がありますので、学校や会社帰りでもすぐにレッスンが受けられます。
- ・まずは 090-7987-9620（牧野）までお問い合わせ下さい。